

## 1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市松尾寺駅前観光交流施設		
指定管理者	特定非営利活動法人駅舎と共について		
設置目的	歴史的な建造物を保存・活用し、ふれあいの場として提供することと、観光情報の発信拠点として、農村交流・世代間交流・学術交流を深め、地域活性化に繋げるため。		
選定方法	公募・ <b>非公募</b>	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
所管課	産業振興部観光まちづくり室観光振興課		

## 2 利用状況等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数(人)	1,134	1,001	2,943	5,263
利用料金(円)	—	—	—	—
指定管理料(円)	92,000	92,000	92,000	92,000

## 3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用人数	1,000名	1,100名	5,263名	478%
施設を利用したイベント企画数	3件	3件	0件	0%

## 4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	—	人件費	0
指定管理料	92,000	維持管理費	332,377
事業収入	0	事業費	7,900
その他	303,500	その他	0
合計	395,500	合計	340,277
差額			55,223

## 5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	○	イベントについては新型コロナウイルスの影響を受け開催ができなかったが、利用者のおもてなしについてはコロナウイルス対策を行い、市民のみならず市外からの利用増加につなげ、施設の認知度向上に繋がった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	これまで同様に映画ロケなどの側面支援を行うなど、日本遺産の構成文化財の周知、ブランド価値向上に貢献した。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	住民のみならず、学生と共に草刈りなどの保守管理を実施するなど活動拠点としての取り組みを行った。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた事業は実施できなかったが、カフェ事業に関しては非常に多くの方の利用があり、今後につながる効果的な事業となった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	カフェ事業が好調であり、利用者数、利用率ともに向上が図られた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	利用者・来場者に対し、常に親切丁寧な対応に努める姿勢は評価でき、リピーターも多いため利用者の満足度は高いと考える。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	定期的にモニタリングを行い、利用者の意見把握に努めている点で評価できる。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	課題であったトイレについても対策が取られ、苦情等に対しても迅速に対応を行うなど評価できる。
(3) 管理運営の効率性		

経費の節減が図られたか	○	適切に取り組まれた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	適切に取り組まれた。
収入増加のための取組が行われたか	○	寄付金募集やイベント開催、映画撮影受入など取り組まれ適切に集金が行われた。
<b>(4) 適正な管理運営</b>		
適切な人員配置が行われたか	○	最低限の配置は行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	不定期ではあるが、組織内でミーティングがもたれ相互の研鑽を積み重ねられている。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われた。
収支状況や会計処理が適切か	○	昨年度から改善が図られた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	適切に行われた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われた。
<b>(5) その他コメント</b>		
サービス向上	観光客への案内のため、観光パンフレットの配架・ポスターの掲示等に取り組まれた。また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、カフェを活用した新たな取組もスタートしており、利用者の満足度向上に繋がる取組が進められている。	
経費削減	予算規模が小さく、削減に係る効果が分かりづらいが、ライフライン等で要する固定費を除いては、節電等に尽力しており経費削減への取組がみられる。	
施設の維持・管理	観光客へのおもてなしの向上へ向けた取組や、地域コミュニティの活性化の拠点としての活動を、NPOのみならず地元住民や舞鶴高専、その他関係者と連携し実施する点は、目に見える以上の非常に大きな収穫があったものと思われる。一方で、行われるイベントが例年同様の内容となっていることから、新たなアイデアによるさらなる活発な施設の活用を検討願いたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

## 6 選定委員会による評価

評価点	4.5点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>コロナ禍であっても利用者数が目標をはるかに超え増加したことは評価できる。年間利用者数も多く、非常に良い管理をしている。旧駅舎が持つ独特な雰囲気のカフェが活かしている。カフェも雰囲気が良く、引き続き継続されるよう希望する。歴史的、文学的な案内を充実してほしい。管理費の支出明細を作成されたい。まだまだ施設を知らない人も多いので、引き続き努力をお願いしたい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
4点	4.2点	3.66点	3.95点